

JAしまねびより

2020
7
July
Vol.52

特集

「JAの自己改革に関する
組合員アンケート」最終集計結果のご報告

鳥根の
いいもの再発見!!

梅

[雲南市]

詳細は6ページへ



JALしまね 出雲地区本部版

来月の
外勤日は

8月15日(土)

1 JA介護事業所等へのマスク寄贈

JAしまねは6月5日、松江市の本店においてJA共済連島根より、新型コロナウイルス感染症予防用に役立ててもらおうと、JAの介護事業所およびJA島根厚生連へマスク10,000枚が寄贈されました。

新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にあるものの、全国的には終息には至っておらず、第2波が警戒されています。当JAでも高齢者をはじめとした多くの組合員・地域住民のコミュニティ形成の場として、大きな役割を担っているJA介護事業所や健診施設を運営しており、感染予防に向け職員が一丸となって日々細心の注意を払っています。

マスクを受け取った石川寿樹組合長は「まだまだ介護事業の現場等では新型コロナウイルス感染症防止対策に気を抜けない状況が続いている。頂いたマスクはありがたいです。大切に使用させていただきます」と話しました。



SDGsとは、国連が決めた「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」から、一文字ずつ取った略称です。17の目標をマークで示しています。

2 農作業の労力負担軽減！

農家の安全確保や作業負担軽減、また農業の効率化を図ることを目的に、やすぎ地区本部と雲南地区本部で農作業の軽減用機械の実演会を開催しました。

やすぎ地区本部を含む安来地域担い手育成総合支援協議会（安来市・島根県東部農林振興センター安来支所安来市農業委員会）は6月10日、安来市にある農事組合法人よしたのタマネギ圃場などで、収穫機械や乾燥機の実演会を開催し、営農組合や関係者ら約60人が参加しました。当日は収穫機で掘り起こしたタマネギをピッカーで拾い上げ、コンテナ詰めするまでの作業を機械で行い、乾燥作業では短時間で乾燥させる吸風式の特殊な装置が披露され、参加者は労働力の軽減や作業時間の短縮など、作業の効率化を実感していました。

同地区本部では水田を活用したタマネギ栽培を促進するため、播種から乾燥まで生産に必要な一連の機械を導入し、今年度から生産者への貸出事業を開始。これにより生産者の機械導入にかかるコストの低減を進め、タマネギの産地づくりを図っています。

また、雲南地区本部では、傾斜地での除草作業を軽減するラジコン草刈り機の実演会を6月5・6日の両日、仁多郡奥出雲町で管内の農業法人を対象に開催し、近隣の営農組合などの代表者らが参加しました。

今回実演が行われたラジコン草刈り機は、走行部をモーターで駆動し、エンジンで刈刃を駆動するハイブリッド方式を採用することで、力強く安定した草刈り作業ができるうえ、刈幅は70cm、刈高3〜9cm、最大傾斜45度まで作業を行うことができます。

中山間地域の農家にとって、高齢化や担い手不足が深刻化しており、短時間できれいに刈り取る様子を見た参加者は「安定感やスピードがあり効果的に草刈りができる」と、その手軽さと性能の良さ、安全性を実感していました。

両地区本部では生産者の作業負担軽減と安全確保、また農作業の効率化と人手不足を補うため、今後も導入を推奨していきます。



雲南地区本部：ラジコン草刈り機の実演会



やすぎ地区本部：タマネギ収穫作業機実演会

お知らせ 次回8月号は総代会特集！

6月28日(日)に浜江市の石央文化ホールで開催した第6回通常総代会の様子は、8月号の特集誌面にてご紹介いたします。本来であれば7月号にて皆さまにお繋ぎすべきところですが、作成スケジュールの都合から8月号での掲載とさせていただきます。なお、第6回総代会資料は当JAのホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた生産者の皆さまへ

高収益作物次期作支援交付金のご案内

新型コロナウイルス感染症の発生により売上げが減少する等の影響を受けた**高収益作物（野菜・花き・果樹・茶）**について、次期作に前向きに取り組む生産者の皆さまを支援いたします。

支援対象となる生産者

令和2年2月から4月の間に野菜、花き、果樹、茶について、出荷実績がある又は廃棄等により出荷できなかった生産者

支援内容その1（要綱第4の2の（1）関係）

◆高収益作物の次期作に向けた取組に対して、次のとおり支援します。

【支援単価】

- ①基本単価5万円/10a（野菜、花き、果樹、茶） ※中山間地域等では単価を1割加算
②施設栽培のうち高集約型品目の単価



対象品目（高集約型品目）：新型コロナウイルス感染症の影響で需要が減少した品目	交付単価
施設栽培の花き、大葉及びわさび	80万円/10a
施設栽培のぶどう及びおうとう、マンゴー	25万円/10a

【対象施設】加温装置（空調装置）又はかん水装置がある施設

対象となる
取組例

- ・生産・流通コストの削減の取組
- ・種苗、肥料、農薬等の資材の購入
- ・土壌改良資材の投入
- ・自動環境制御装置の活用
- ・作業環境の改善の取組
- ・事業継続計画の策定
- ・機械化体系の導入
- ・被覆資材の導入
- ・空調装置の導入
- ・環境制御盤の導入 等

支援内容その2（要綱第4の2の（2）関係）

◆次期作に向けた下記の①～③のいずれかの取組を行う場合に、10a当たり2万円を支援します。

（野菜、花き、果樹、茶） ※中山間地域等では単価を1割加算

対象となる
取組

- ①新たに直販等を行うためのHP等の整備
 - ②新品種・新技術の導入等に向けた取組
 - ③海外の残留農薬基準への対応又は有機農業・GAP等の取組
- ※2万円/10a×取組数（3取組（①②③全て）で、最大6万円/10a）

支援内容その3（要綱第4の2の（3）関係）

◆高品質なものを厳選して出荷する取組に対して、取組を行った人数・日数に応じ、1人・1日あたり2,200円を支援します。

※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年2月以降、厳選出荷に取り組んだ期間が対象となります。

【対象品目】

花き、茶、施設栽培の大葉、わさび、ぶどう及びおうとう、マンゴー

※施設栽培のうち、いわゆる雨よけハウスは除きます。

出雲地区本部管内のお問い合わせ先：出雲市農業再生協議会、出雲市農業振興課、JA営農企画課、各営農センターまで

肉用牛の生産を行う畜産農業者へのご案内

肥育農家向け

- 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業…枝肉価格の下落に対する出荷奨励金交付
出荷延期に伴う掛かり増し経費の支援
牛マルキン負担金免除

繁殖農家向け

- 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業…全国平均価格が一定額下回った際の奨励金
- 肉用子牛流通円滑化等緊急対策…出荷延期に伴う掛かり増し経費の支援



お問い合わせ先：地元地区本部畜産担当者まで



アンケート」最終集計結果のご報告

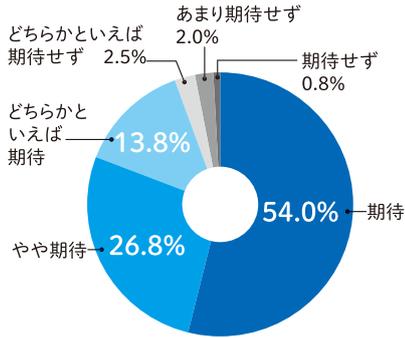
■組合員79,600人による回答（正組合員37,600人、准組合員42,000人）
 ■回答率65.0% ■四捨五入の関係で構成比率が100%にならないグラフもあります。

正組合員 **准組合員** = アンケート対象者

自己改革への評価について

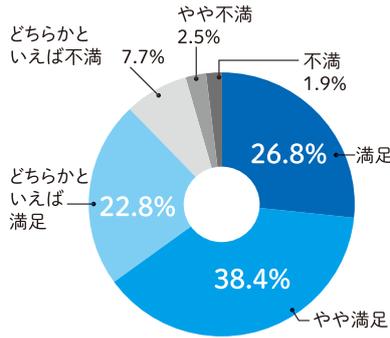
■ 営農指導事業（農業の栽培技術指導や経営支援など）

■ 期待度 **正組合員**



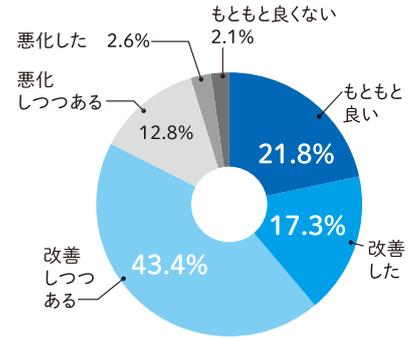
回答していただいた正組合員のうち、**94.6%**の方より**期待**を表す回答をいただきました。

■ 満足度 **正組合員**



回答していただいた正組合員のうち、**88.0%**の方より**満足**を表す回答をいただきました。

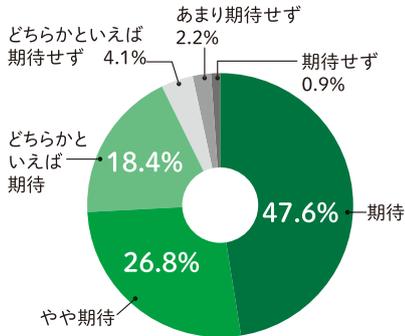
■ 事業内容変化 **正組合員**



回答していただいた正組合員のうち、**82.5%**の方より**改善**を表す回答をいただきました。

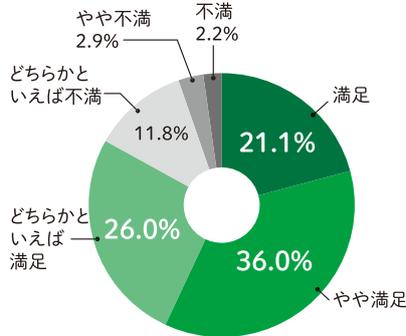
■ 農畜産物販売事業（農畜産物の販売など）

■ 期待度 **正組合員**



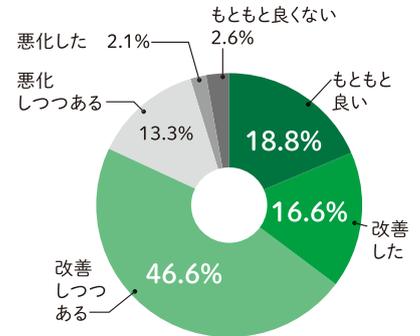
回答していただいた正組合員のうち、**92.8%**の方より**期待**を表す回答をいただきました。

■ 満足度 **正組合員**



回答していただいた正組合員のうち、**83.1%**の方より**満足**を表す回答をいただきました。

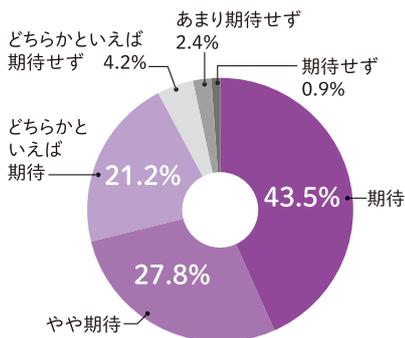
■ 事業内容変化 **正組合員**



回答していただいた正組合員のうち、**82.0%**の方より**改善**を表す回答をいただきました。

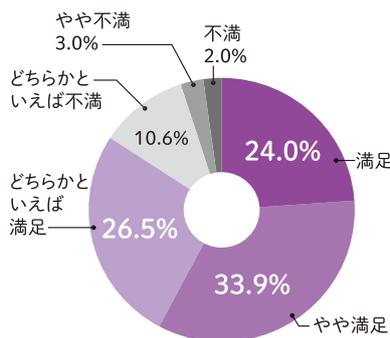
■ 生産資材購買事業（肥料や農機具等の販売など）

■ 期待度 **正組合員**



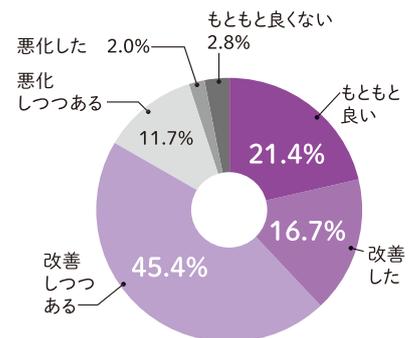
回答していただいた正組合員のうち、**92.5%**の方より**期待**を表す回答をいただきました。

■ 満足度 **正組合員**



回答していただいた正組合員のうち、**84.4%**の方より**満足**を表す回答をいただきました。

■ 事業内容変化 **正組合員**



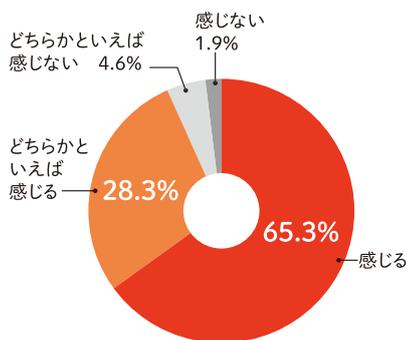
回答していただいた正組合員のうち、**83.5%**の方より**改善**を表す回答をいただきました。

「JAの自己改革に関する組合員ア

JAグループでは、自己改革として、3つの基本目標「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に取り組んでまいりました。その評価に関する組合員の意思を把握するため、平成31年1月から令和元年12月末にかけて、組合員79,600人に「JAの自己改革に関する組合員アンケート」を実施し、調査へご協力をいただきました。このたび、最終集計結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

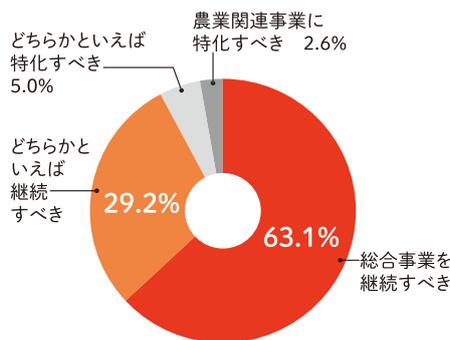
JAの総合事業について

■ JAの必要性 正組合員 准組合員



回答していただいた組合員のうち、**93.6%**の方よりJAは地域農業やくらしにとって必要な存在として肯定的な回答をいただきました。

■ 総合事業の継続 正組合員 准組合員

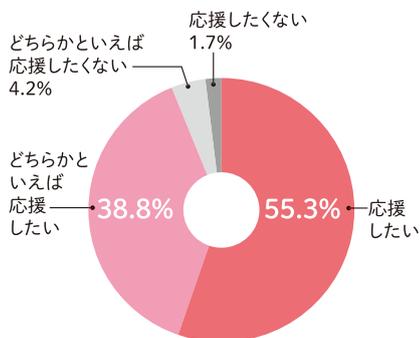


回答していただいた組合員のうち、**92.3%**の方より総合事業の継続について肯定的な回答をいただきました。



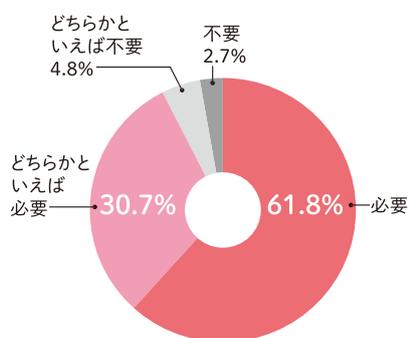
准組合員制度について

■ 地域農業や地域づくりの 応援 准組合員



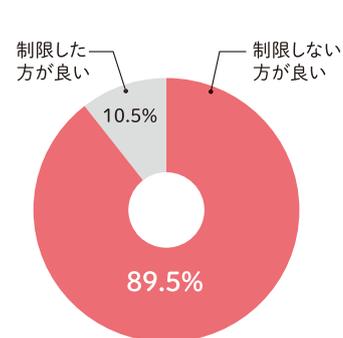
回答していただいた准組合員のうち、**94.1%**の方より地域農業や地域づくりの応援に肯定的な回答をいただきました。

■ 准組合員のJA事業利用の 必要性 正組合員



回答していただいた正組合員のうち、**92.5%**の方より利用について肯定的な回答をいただきました。

■ 准組合員の利用制限 正組合員 准組合員



回答していただいた組合員のうち、**89.5%**の方より利用について制限しない方がよいとの回答をいただきました。

組合員調査の結果、「JAは必要な存在である」「総合事業を継続すべき」「営農関連事業（営農指導・販売・生産資材）に期待している」などの声を多くいただきました。

こうした結果をもとに、今後も対話活動を強化するとともに、組合員の意見や要望を聴きながらJA事業・活動に活かしていきます。調査にご協力いただきました皆さまへ、誌面をもってお礼申し上げます。



島根には誇れる
農産品がた一つくさん!

島根のいいもの 再発見!!

[直撃・生産者インタビュー]

雲南市

梅

7月は、雲南地区本部。
雲南市で梅の栽培に
取り組む雲南梅生産
組合の祝原光雄さんに
お話を伺ってきました。



お話を伺いました
祝原光雄さん

少しずつ植えていった梅の木

雲南市三刀屋町で約30年前から梅を栽培する祝原さん。元々、家では米や野菜など自分たちで食べるほどの農業はしていましたが、歳をとってからの楽しみのために梅を植えることにしました。最初は5aほどの敷地から始めましたが、当時の三刀屋町梅生産組合(現:雲南梅生産組合)に入ったことをきっかけに、本格的に栽培をすることになります。家の近くにある農地や田んぼだった場所などを活用して年々梅の木を増やしていき、今では約30aの広さで100本近くの木を育てています。

受粉の難しさ

出荷する主な品種は「南高梅」。皮が薄く、果肉が柔らかいという特徴があり、いちばんのヒット商品です。その南高梅が実をつけるには、他の種類の花粉が必要になります。そのため、受粉樹として小梅の木を植え、花が咲くタイミングで養蜂家からミツバチを借りて、そのハチを使って受粉させます。ハチは双方の木を行ったり来たりして花粉を運んで

くれます。ただ、南高梅と小梅が同じタイミングで花を咲かせないと受粉ができないため、お互いの開花の時期がずれると、その後の実の付け方にも大きく影響していきます。人工授粉という方法もありますが、手間も時間もかかってしまうため、自然のやり方を続けているそう。また、敷地内の全体の4分の1を占める小梅の木々にも実が付きませんが、小梅はほとんど需要がないため収穫・出荷はせず、自然落果していただくだけなんだそう。何か良い使い道はないかと模索しています。

自分に合うやり方を探し続ける日々

祝原さんにとって、梅を育てる上でいちばん難しいのが「剪定作業」だと言います。通常、剪定は夏と冬に行います。夏は軽く20%くらいで、冬は細かいところまで丁寧な切つていきます。剪定には、芽の切り方や切る幅の長さ、深さなど幾通りものやり方があり、その中から自分の木に合ったベストな方法を見つけるのは容易くありません。祝原さんも、今まで色んな人から聞いたやり方でやってみたものの、これが良い!というやり方はまだ確立されてい





傷つけないよう丁寧にひとつずつ収穫していく。

ないそう。土壌や木の状態、さらに毎年変わる気候条件を見ながら、自分に合ったやり方を探しています。また、梅には「黒星病」という代表的な病気が出ることがあります。実に黒い点々が付き、見た目も味も落ち、一気に品質が下がってしまいます。これらの防止のため、前年から薬を散布します。病気にかかってしまうと1年間手塩にかけて育てた作物が一度に駄目になってしまうので、そうならないよう注意しながら対策を立てています。ただ、最近はなるべく消毒を使用しないように心掛け、堆肥として枯れ草を敷くなどの工夫をしながら栽培方法にも気を遣います。「長い間やっていても、毎年が初めてみたいな感じですよ」と祝原さんは今もなお試行錯誤を続けています。

喜びが積み重なった2週間

南高梅が実を付け始めるのは、毎年5月上旬ごろから。その頃に1度、摘果作業を行い、2〜3cmくらいの間隔にしてやります。その後は、多少自然落果しますが、必要なら2度目の摘果作業を行います。収穫の時期は、毎年6月中旬からの約2週間。この

時が祝原さんにとっていちばん嬉しい時です。このたった2週間の間に今までの努力が全て報われます。さらに収量があれば、なおやりの感も感じられます。

出荷用のサイズはMから4Lまで5段階に分かれています。南高は漬け梅用なので、ほど良い大きさである2Lサイズが人気なのだとか。出荷先は、主に県内の酒造会社や地元の商品加工場、産直市など。なるべく地元の人にこの梅を使ってもらえるよう配慮しています。祝原さんや生産組合は「地元で使うものは、地元で作りたい」という思いが強く、こだわりを持ちながら栽培を続けています。

一口メモ

梅雨の季節が近づくと、店頭には梅が並び始めます。最近、再び注目されている「梅しごと」。梅干し、梅シロップ、梅酒など保存用の梅を準備する一連の作業のことをそう言います。健康食品としても梅は注目されており、若者の間でも簡単にできる「梅しごと」の人气が高まっています。南高梅は皮が柔らかく、食べた後でも口の中で溶けるようにスツと消えていくので、漬けて食べるのがオススメです。

●雲南梅生産組合へのお問い合わせは TEL 0854-42-9055



梅ジュース



梅シャーベット

後継者不足という課題に向かつて

地元のために手間隙かけて育てる喜び。そういった思いを持ちつつも、現在抱える大きな悩みはやはり「後継者不足」。結成当初は80名近くいた生産組合の組合員も、今では8名までに減少しました。組合としても毎年JAと企画して剪定講習会などを開催しています。一般の方の参加もでき、昨年は30名近くの参加者がいたそう。「まずは、梅生産組合の存在を知ってもらうことが大事」と語る祝原さん。多くの人に参加してもらうことで、生産組合への興味も持ってもらい、いずれは組合にも加入してもらえたらと考えています。また、今後は1軒の農家が少しずつの量でも出荷でき、生産組合全体で量を増やせるような仕組みを作るなど、農家の負担を減らしながらも何とかこの地域の梅の生産を絶やさぬよう努力しなければならぬと、将来のことを考えながら活動しています。



30aの敷地に約100本の梅の木が植えられている。



雲南女性部

こんにちは! 雲南女性部です。私たちは、JAと地域をつなぐ架け橋となるよう、様々な活動を行っています。食育活動では、子供たちに命をいただくことへの感謝などを伝えています。また、講師などを務める「男の料理教室」は今年で6年目となり、魚のさばき方やそば打ち、時にはイノシシもメニューに加えるなど、雲南管内の地域性を生かし、年々進化(?)しています。

また、自分磨きや交流も大切な活動の一つです。昨年女性大会では「シュシュコレクション」を開催し、42名の部員がお気に入りの服を着用し、ランウェイを堂々と歩きました。いくつになっても新たなことに挑戦することの楽しさや、支部を越えた交流など、沢山のものを得ることができました。

今年の活動は、自粛をせざるをえないのがとても残念ですが、「今だからできること」をみんなで一緒に考え活動していきたいと思ひます。



あぐりキッズ生と太巻きづくり



華やかに!! シュシュコレクション



男の料理教室

一所懸命青年連盟



JA YOUTH

JAしまね出雲青年連盟

ひのともき
日野 友喜さん



JAしまね出雲青年連盟(以下、農青連)に加入している日野友喜さん(31)は、出雲市大社町でぶどう約41aを栽培しています。地元の農林大学を卒業後、農業技術センターに5年間勤め、祖父が行っているぶどう栽培を引き継ぎました。

子どもの頃からお小遣い稼ぎで「箱折り」や「水かけ」、「ビニール張り」などを手伝っていた日野さん。ぶどう農家を志したのは、中学生の時に祖父が過労で倒れたことがきっかけでした。今は元気に回復されていますが、その時にぶどう廃業が頭に浮かび、「家業であるぶどうを絶やしたくない!必ず自分がぶどう農家を引き継いでやっていく!」と就農を決意しました。自分が作ったぶどうを友人や盟友が食べて喜んでいる姿を見ると「ぶどう栽培をして本当によかった」と感じるそうです。

農青連に加入して4年目。現在は大社支部の支部長を務め、JA祭りの出店やぶどう栽培教室の開催、福祉施設へのぶどう贈呈などを行っています。

「農青連では、行政やJAと意見交換できる機会があり、これは組織だからできること。自分達が抱えている課題や要望をしっかりと伝え、新規就農していく人達が今以上に増えていくように働きかけたい」と話しました。



あなたもチャレンジ 家庭菜園

カブ

適期に間引きを行う

生育適温は15～20度と冷涼な気候に適し、暑さと乾燥に弱い、寒さには強いという特徴があります。春まき(3～4月)と秋まき(9～10月)が一般的な栽培時期です。



園芸研究者 ● 成松次郎

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

品 種

大きさ、形、色(白、赤)がさまざまですが、小カブ品種では、豊円形で耐病性・耐暑性のある「CRもちばな」(タキイ種苗)、低温期に向く扁(へん)円球で白さび病にも強い「雪牡丹」(武蔵野種苗園)、中大カブ取りもできる「スワン」(タキイ種苗)などがあります。紅カブや上半身が赤く細長い日野菜など地方品種もお薦めです。

畑の準備

種まき1～2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gをよく混ぜておきます。次に、化成肥料(NPK各成分で10%)150gと堆肥2kgを全面に散布し、よく耕しておきます(図1)。

種まき

幅100～120cmの栽培床を作り、深さ1cm程度のまき溝を20cm間隔で4条作ります。溝に1～2cm間隔で種をまき、薄く土を掛けます(図2)。

間引き

発芽し、子葉がそろった時点で、まき過ぎて密になっている部分を間引きます。その後も、込み合ってきたら、生育の悪い株を間引きます。最終的な株間は小カブで10～15cm、中大カブで20cm程度にします(図3)。

追肥・土寄せ

間引き後は株元へ土寄せして、株のぐらつきを防ぎます。中大カブでは、最後の間引き後に1平方m当たり化成肥料30gを株元と与え、土寄せします。



図1 畑の準備



図2 種まき

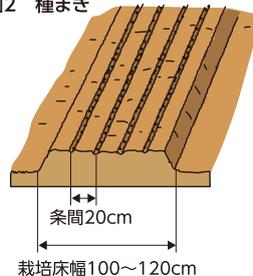
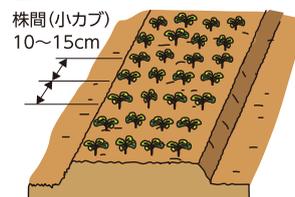


図3 間引き



病虫害防除

アブラムシには、マラソン乳剤など、アオムシ、コナガにはゼンターリ顆粒(かりゅう)水和剤(BT剤)などで防除します。なお、栽培床に寒冷しゃをトンネル状に掛けたり、不織布のべた掛けをすれば、害虫の侵入を防ぎ、風雨から幼苗が守られます。

収 穫

小カブは直径が5cm程度、中大カブは10～15cmが適期で、早く育った株から収穫します。遅くまで置いておくと肥大が進み、す入りや裂根することがあります。

理事会情報 (5月28日開催)

【協議事項】

- ①令和2年6月1日付けやすぎ地区本部の機構改革の実施についておよび職制規程の変更について
- ②営農・経済事業改革における地産地消事業拡大の取り組みについて
- ③農産物検査業務規程の一部改正について
- ④令和元年産島根米買取価格の設定について
- ⑤専門酪農協乳用牛預託事業実施規程・契約書の一部改正について
- ⑥LPガス充填所の危害予防規程の一部改正について
- ⑦信用手数料(法人ネットバンク振込手数料)の変更について
- ⑧信用・共済事業改革の取り組みについて(令和2年度)
- ⑨令和元年度決算の承認について
- ⑩第6回通常総代会への附議議案について

- ⑪令和2年度の業績還元額の取り扱いについて
- ⑫地区本部損益管理にかかる基準日後利益活用額の取り扱いについて
- ⑬令和元年度決算を踏まえた財務調整の取り扱いについて
- ⑭やすぎ地区本部自動車課職員の不幸事にかかる再発防止策について
- ⑮「次期運営体制整備」と「本店機能と場所の検討」にかかる総代会資料への記載について
- ⑯通常総代会にかかる「総代会参考書類」および「議決権行使書」の取り扱いについて
- ⑰関連団体等への常勤役員の就任について
- ⑱島根県常例検査書(本店、くにびき)の回答について
(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

令和元年度事業報告と 令和2年度事業方針について

JALまね第6回通常総代会を6月28日に開催し、前年度事業報告、新年度事業計画について可決承認いただきました。その内容について、組合員のみなさまへご報告し、ご意見・ご要望を伺う機会として、出雲地区本部では地区別組合員大会を例年開催しております。

しかしながら、今年度につきましては新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、止む無く中止と致しました。

JALまね及び出雲地区本部の令和元年度事業報告、令和2年度事業計画は以下のとおりとなりましたので、本誌への掲載を持ちまして組合員の皆様へのご報告に代えさせていただきます。

JALまね 令和元年度事業報告

令和元年度は、第2次「農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度として、県や市町村、関係機関と連携し、営農指導と経営指導を通じた農業所得の増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

販売事業について、米穀は主食用の収穫量は85,500tで、前年産比4,600tの減少となりました。また、元年産米の集荷数量は3月末現在で35,300tとなり出荷契約に対する集荷進捗は87.5%、前年対比では91.5%となりました。

デラウェアは、販売単価目標の1,300円/kg(税別)に対し、過去最高の1,327円/kg(税別)となりました。西条柿は、出荷数量は前年を上回ったものの、単価は前年を下回りました。



畜産は、雌牛保留や増頭対策を実施し、酪農と連携した和牛子牛の増頭に努めました。酪農は、乳用初妊牛導入等に取り組み、前年

を上回る受託販売数量(前年比101.7%)及び受託販売額(前年比104.9%)となりました。

肥料・農業については、品目集約による価格低減を図り、組合員へ還元しました。また、価格低減となる担い手直送超大型規格農薬の普及に取り組みました。

信用は、貯金については、島根県内の特産品を使用した加工品をプレゼントするキャンペーンを実施し、農畜産物消費拡大、農家所得の向上に取り組みました。貸出金については、各農業資金の保証料(島根県農業信用基金協会)を全額助成しました。

共済は、農業経営に関わる様々なリスクへの診断を行う「農業リスク診断活動」に取り組みとともに、「JALまねこども倶楽部」を通じて子育て支援や次世代との繋がりを図りに努めました。

また、3月1日より、地区本部金融共済部を廃止し統括支店に機構改革を行い、一部の業務を本店に移行することで、業務の効率化を図りました。

くらしの活動では、青年組織、女性部をはじめ組合員や地域住民など幅広い参加・参画(アクティブ・メンバーシップ)を促進し、農協運動の活性化に努めました。

こうした取り組みの結果、販売

品販売高が386億94百万円、購買品供給高が320億91百万円、貯金残高が9,767億61百万円、貸出金残高が2,864億65百万円、長期共済保有高が3兆3,136億61百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は14.12%となりました。

収支面については、事業利益が4億74百万円、経常利益は19億87百万円となり、当期剰余金は9億92百万円となりました。



出雲地区本部 令和元年度事業報告

〇営農指導事業

国の林業・木材産業成長産業化促進対策交付金事業等を活用した、しいたけハウスリース事業や、果樹経営支援対策事業等を活用した、いちじく団地リース事業造成に取り組みました。

また、消費者からの農畜産物への安全・安心を求める気運の高まりにより、GAPを活用した「安全・

安心な農畜産物づくり」の一環として、現在6組織が「美味しまね」認証を取得していません。本年度は更なる安全・安心に向けた取り組みとして、「美味しまね」認証の上位認証である「美味しまねゴールド」の団体認証取得に向けた支援を行い、出雲しいたけ部会が団体認証取得しました。



米穀では、倉庫大口奨励やカントリー利用奨励など集荷対策を実施し、米集荷拡大に取り組みました。畜産では、後継者による規模拡大を目的に、国庫補助事業を活用して牛舎を建設しました。また、就農に向けた候補地選定に取り組みました。



○購買事業
生産購買事業では、県下統一品目（水稲・肥料5品目・農薬14品目、園芸・肥料1品目）に集約し、価格低減に努めました。営農組合や担

い手農家に対して、TACと連携して肥料の大型車直送、農薬の大型規格品の推進によるコスト低減の提案を行いました。また、組合員へ栽培技術や新商品等の情報提供を目的に、ミニアグリミーティングを開催しました。

ラピタでは生鮮食品を中心とした、地元産品の販売拡充に努め、食育をテーマとした施策など、より地域に密着した店舗運営を行いました。旅行事業では、JAしまね統合4周年企画旅行として「屋久島と種子島」を計画し、多数のご参加をいただきました。また、葬祭事業では、多様化する葬儀ニーズに応えるため、資格取得や研修会参加等、職員の専門性の強化に取り組みました。

LPガス事業では、ガス機器のリース普及と他燃料からの燃料転換に取り組み、保安業務においては集中監視システムの更新を行い体制の強化に努めました。石油事業では、ラピタと連携した販売促進策を実施し利用者拡大に繋げました。また、自動車事業では、車両の個人リースの取扱を開始し利用者のニーズに沿った事業展開を行いました。

○販売事業
新たな販路拡大のため、香港・

シンガポール向けに西条柿（生・干し柿）の試験販売を行い、次年度に向けた商談を重ねました。国内では、阪急百貨店にて「しまねフェア」を月1回4店舗（38回）で開催し、関西圏で出雲特産品の認知度向上、消費拡大に取り組みました。また、販売先や消費者のニーズを反映し、付加価値をつけた商品づくりのため、青果物規格やパッケージの提案、インターネット販売や通信販売を強化しました。その他、「こめたまご・まい米牛」の販売促進、米の収穫前契約拡大を進めました。

○信用事業
多様化する農業者の金融ニーズに対応するため、農業金融プランナーの育成を強化し、農業資金の伸長に取り組みとともに、住宅メーカー等へ積極的に働きかけ、住宅ローンを中心とした個人融資の伸長にも取り組みました。また、年金受給者の拡大に向け、全支店で年金相談会を開催し、年金情報管理システムを活用した相談者へのアプローチを行いました。年金受給者の集いは、丘みどりコンサートを開催し、受給者の皆さまから好評を得ました。

その他、多様化する資産運用ニーズに対応するため、職員向けの投資信託研修会を実施し、相談体制

の強化に取り組みました。

○共済事業
LAを中心とした契約者フォロー活動「3Q（サンキュー）訪問活動」による恒常推進占率100%を確立し、地域組合員、利用者へ安心と満足の提供と併せ、「スマイル活動（窓口お知らせ活動）を全支店で展開することにより、来店者への情報提供と支店内連携の強化を図りました。また、子育て支援事業や地域貢献活動を通じ、JA利用

事業別の明細

項目	JAしまね	出雲地区本部
販売品販売高	386億94百万円	83億67百万円
購買品供給高（生産資材）	124億3百万円	20億9百万円
購買品供給高（生活物資）	196億87百万円	130億20百万円
貯金残高	9,767億61百万円	2,640億31百万円
貸出金残高	2,864億65百万円	730億67百万円
長期共済保有高	3兆3,136億61百万円	7,542億40百万円

者のみならず幅広い世代に
対してPR活動を行いました。
さらに営農部門と連携し、
地域農業の担い手交流集会
を契機とした「農業リスク診
断活動」に取り組みました。
「自動車安心サポート課」
では自動車事故における契約者へ
の迅速・的確な対応と専門的知識
の強化により利用者満足度の向上
を図りました。

○地区本部運営

人口減少や少子高齢化による信
用・共済事業収益の縮小等を見据え、
経営の健全性確保のため、地区の

損益の状況		
項目	J Aしまね	出雲地区本部
事業総利益	264 億 27 百万円	75 億 40 百万円
事業管理費	259 億 52 百万円	73 億 94 百万円
事業利益	4 億 74 百万円	1 億 45 百万円
経常利益	19 億 87 百万円	6 億 22 百万円
当期剰余金	9 億 92 百万円	3 億 61 百万円

皆様のご理解を
いただき、出雲・
今市支店、塩冶・
有原支店、荒茅・
園支店について
店舗再編を実施
しました。



J Aしまね
令和2年度事業計画

J Aしまねは、管内人口の減少、
組合員の高齢化等により、急速に
地域社会、地域農業が変化してい
くなかで、県内農業生産基盤が脆
弱化するとともに、J Aの組織基盤
及び経営基盤の弱体化など、3つ
の危機（農業・農村の危機「組織・
事業・経営の危機」協同組合の危
機」に直面しています。

一方で、新型コロナウイルス感
染症が蔓延したなか、食料を供給
し暮らしを支えている農業の大切
さや、協同組合としての地域貢献
の姿勢が再認識されはじめていま
す。

このような状況下で、「持続可能
な農業の実現」「豊かでくらしやす
い地域社会の実現」「協同組合とし
ての役割発揮」を実現していくため、

組合員・役員が共に力をあわせ、
「農業者の所得増大」「農業生産の拡
大」「地域の活性化」の3つの目標を
基本とした、創造的自己改革を実
践していきます。

令和2年度は、「第2次中期経営
計画」と「農業戦略実践3カ年営農
計画」の第2年度として、目標に向
かって役員が一体となり、各事
業部門・地区本部の方針・重点事
項を実践します。

また、組織運営についても、各
事業の総力を結集し「総合事業」を
継続するなかで、盤石な経営基盤
の確立を通じて、引き続き農業者・
地域住民のニーズに応えることが
できるよう、本店と地区本部、地
区本部間の連携を強化し、事業改
革により重複する機能・機構の整
備・効率化等を進めます。

特に、営農・経済事業は業務の
効率化、収益拡大、赤字削減のた
めに具体的な改革に取り組みます。
また、金融店舗・ATMは、利便性
や効率的なサービス提供を考慮す
るなかで、将来的な採算性も重視
しながら、機能見直しや再編に取
り組みます。



出雲地区本部
令和2年度事業計画

○営農・農業振興

「地区担い手ビジョン」に基づく
担い手経営体や新規就農者をはじ
め、家族経営による小規模農業者
等の多様な農業者へ栽培・経営指
導の拡充を行い、総合的な支援に
よる農家所得向上や農業生産拡大
に貢献します。

米穀において
は、実需者から
求められる「きぬ
むすめ」「つや姫」
への品種転換を
より一層進め、
収穫前の事前契
約取引「結びつき米」を拡大します。



特産振興は、各生産部会と生産
振興計画（面積拡大、出荷量増、集
荷や選別機器の整備等）について認
識を共有し共販率を高めるととも
に、引き続きリース事業の実施、
スマート農業※1の実践や機能的
農産物※2への多角的な取り組み
により販売高の伸長を目指します。
生産資材購買事業では、オール
島根での営農指導や販売部門と連
携し、統一品目や、全農集約品目、
予約購買の強化充実により生産コ
ストを低減します。

○くらしの活動

出雲女性部をはじめとする各組織との連携を密にし、くらしの活動に積極的に取り組み、地域の活性化に貢献します。主な活動として「農業まつり」を各地区で開催し、安全・安心な農畜産物の提供、生産者と消費者が一堂に集う場の提供、また、地元産品の良さをPRします。

組合員の健康を守る活動では、出雲市から受託している介護予防事業や、組合員健康診断、巡回人間ドック、農業者・女性部健診を実施します。また、地産地消の推進を目的に「いずも食材の日」等のイベント、地元産農畜産物の店頭販売、料理教室、食農体験ツアーを開催します。



○信用事業

TACをはじめとした営農担当部署と事業間連携を一層強化し、JAグループ自己改革メニューの一つである「農業所得増大」「農業生産の拡大」に貢献します。特に、新規就農者及び地域農業の担い手に対し、JAバンク利子補給、借入保証料の助成等、農業融資推進強化を図り農業者の満足度向上を目指

します。

また、多様化する農業者や利用者の金融ニーズに幅広く対応できる農業金融プランナーや各種資格取得による人材育成を進めるとともに、農業融資知識研修をはじめとした各種研修会を実施し、相談業務の質の向上とメインバンクとしての利用者満足度向上を目指します。

取扱計画

項目	JAしまね	出雲地区本部
販売品販売高	382億7百万円	83億90百万円
購買品供給高(生産資材)	125億37百万円	17億11百万円
購買品供給高(生活物資)	199億24百万円	130億35百万円
貯金平均残高	9,813億70百万円	2,543億58百万円
貸出金平均残高	2,898億83百万円	743億27百万円
長期共済保有高	3兆2,060億円	7,370億円

○共済事業

地域密着の事業活動である「3Q(サンキュー)訪問活動」の継続実施により、組合員・利用者への「安心」

「満足」の提供と、子育て支援(JAしまねこども倶楽部)を通じた次世代との接点強化を図ります。

また、自動車損害調査体制に関わる職員一人ひとりが、契約者サービスの重要性を理解し、一丸となって取り組む施策を展開します。

○生活事業

地域の生活拠点として、豊かな食生活と便利さを提供し、生鮮食品を中心とした魅力ある店舗を目

損益計画

項目	JAしまね	出雲地区本部
事業総利益	256億8百万円	74億34百万円
事業管理費	255億61百万円	73億12百万円
事業利益	46百万円	1億22百万円
経常利益	15億31百万円	5億73百万円
当期剰余金	10億9百万円	4億43百万円

指し、市場や生活環境の変化など時代のニーズに対応した販売促進策に取り組みます。また、競合店対策の一環としてラピタ本店1階、

2階への新たな専門店誘致に向けた検討・準備を進めます。葬祭事業・旅行事業は、引き続きサービス向上・充実を目指します。

自動車燃料事業では、「安全・安心・快適」な事業の展開を基本として利用者ニーズに対応した事業提案や、保安体制の充実を図り、組合員・利用者へ魅力ある事業の提供を目指します。

※1 スマート農業とは、ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用し、省力化・精密化や高品質生産を実現する新たな農業のことです。
 ※2 機能性農産物とは、生産工程や栽培方法の改良・品種改良などによって、健康維持・発がん性物質等の作用緩和などに効果が期待される成分の含有量を高めた農産物のことです。

「意見・ご要望について」

令和元年度事業報告・令和2年度事業計画についてのご質問、その他当JA運営に関するご意見については、出雲地区本部各支店・ふれあい店・営農センターまでお寄せ下さい。

頂戴したご質問・ご意見につきましては、改めてご回答致します。JAは組合員の皆様のご意見・ご要望をもとに運営しております。お気軽にお申し出下さい。

J Aしまね出雲ぶどう部会 デラウェア品評会を開催

J Aしまね出雲ぶどう部会は6月12日、J Aしまね荒木支店会議室でデラウェアの品評会を開きました。一次選考を通過した24点を県・市の職員や部会員ら14人が審査し、最優秀賞1点と優秀賞7点を決定。最優秀賞の出雲市長賞には大社地区の森山謙二さんが選ばれました。

品評会は、島根ぶどうの品質および商品性の高レベル準化、生産振興と栽培農家の意欲向上を目的に毎年開催しています。審査委員長を務めた島根県農業技術センター果樹技術普及課の安田雄治課長は「5月の少雨の影響が心配されたが、出品されたデラウェアはどれも果粒肥大が良好で、園の管理が行き届いていると感じ」と講評しました。

受賞した8点は、6月13日、14日にラピタ本店に展示しました。

他の受賞者は次の通りです。

- ▼島根県農業協同組合長賞 長浜地区 浅津 政明さん
- ▼J Aしまね出雲地区本部長賞 大社地区 藤原 祐吉さん
- ▼島根県農業共済組合長賞 河南地区 本田 秀明さん
- ▼(株)鳥根ワイナリー社長賞 長浜地区 川上 良一さん
- ▼島根県果樹研究同志会長賞 大社地区 伊藤 修二さん
- ▼J Aしまね出雲ぶどう部会長賞 長浜地区 川上 廣盛さん
- ▼J Aしまね出雲ぶどう部会長賞 (STEP UP賞) 長浜地区 安達 幹夫さん



着色、粒張りなどを確認する審査員ら

出雲市長へ花束贈呈 出雲・斐川両部会が花卉PR

J Aしまね出雲花卉部会と同J A斐川花き部会は6月19日、長岡秀人出雲市長に花束を贈りました。父の日を前に、出雲市役所正面玄関ホールで贈呈式を実施。コロナ禍で需要が落ち込む花卉をPRしました。

出雲花卉部会では、毎年父の日に合わせてラピタで展示会を開き、花束贈呈を行っています。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため展示会を中止し、斐川花き部会と連携して贈呈式のみを行いました。式では、出雲花卉部会の前島信行部会長と斐川花き部会の北村一夫部会長が、市長に現状を報告し、市内産の花束をPR。両部会に所属する新宮麻衣子さんが花束を手渡ししました。

同市の管理職で構成する出雲市交友会では、今年6月から来年3月にかけて「出雲市役所花いっぱいプロジェクト」を実施しています。期間中5回、市役所本庁舎や行政センターなど、計18か所を市内産の花を中心としたフラワーアレンジメントや鉢花で飾る計画です。

長岡市長は「コロナ禍が心も蝕んでいる状況だが、花が心を癒す力には絶対的なものがある。元気な町がよみがえるきっかけ作りがしたい」と意気込みを話しました。



(写真左から)新宮さん、前島部会長、北村部会長、長岡市長

乾燥シイタケを福祉施設へ 出雲しいたけ部会のイ農ベルみだみ

J Aしまね出雲しいたけ部会の(株)イ農ベルみだみが6月18日、J Aいずも福祉会の高齢者福祉施設みどりの郷など5施設に乾燥シイタケを贈りました。同J A出雲地区本部での贈呈式では、同社の出羽秀治社長と同部会の三島茂部会長が、福祉会の鐘推義憲事務局長に乾燥シイタケ10キロ(生重量100キロ)を手渡ししました。

「コロナ禍の中で、皆さんの健康のために何か役に立ちたい」と出羽社長が発案。同社が栽培した菌床生シイタケで形が不揃いなものを、天日干しで乾燥させて真空パックしました。おいしく、栄養があるシイタケを食べてもらうことで、同部会が栽培する「神々の国 出雲しいたけ」を広くPRし、消費拡大にもつながっていきます。

鐘推事務局長は「サンプルをいただいたが、戻りも良く、おいしかった。施設の皆さんの健康を後押ししていただきありがとうございます」とお礼を述べました。

出羽社長は「シイタケは免疫力アップに効果があるとされる。ぜひ『出雲しいたけ』を日常的に食べてもらいたい」と話しました。



鐘推事務局長(左)へ乾燥シイタケを贈る出羽社長(右)と三島部会長(中)

福祉施設へデラウェア贈呈 出雲青年連盟大社支部

J Aしまね出雲青年連盟大社支部は6月26日、毎年恒例となっている、高齢者福祉施設へのデラウェア贈呈を行いました。同支部の部員が手分けをして、大社町の5施設を訪問し、合計で17箱（2キロ箱）を贈りました。

特別養護老人ホーム いなさ園を訪問した日野友喜支部長は、利用者の方々にデラウェアを手渡し「今年はコロナでどうなるか分かりませんが、施設でも対策をとっていただき実施することができました。皆さんに喜んでいただけるのが一番の励みになります」と話しました。



利用者の方にデラウェアを贈る日野支部長(左)

「つや姫」栽培講習会開催 ブランド化へ栽培管理徹底

J Aしまね出雲地区本部は6月4日、管内5ヶ所の展示水田で今年1回目の水稲「つや姫」栽培講習会を開催し、同地区本部総合指導課の職員が、生育調査の結果や今後の水管理について説明しました。

県産「つや姫」は、平成29年産から3年連続で米の食味ランキング（日本穀物検定協会）で「特A」を獲得。ブランド化に向け、定期的に講習会を開き、栽培管理の徹底と技術向上に努めています。講習会には、指導力向上のため新任の営農担当職員4人も同行し、J A全農や農薬メーカーの指導を受けながら、草丈や茎数、葉色などを測定しました。



営農指導員の説明を聞く参加者

出雲の菊が出荷本格化 電照菊部会

盆の需要期に向け、出雲地区本部管内で電照菊部会が栽培する菊の出荷が最盛期を迎えようとしています。今年は5月中旬から出荷が本格化。地元市場を中心に出荷し、7月末から8月上旬がピークの見込みです。コロナ禍の影響で需要が減少しているものの、地元産の菊の引き合いは強く、7月上旬現在、価格も持ち直しつつあります。

電照菊部会は菊生産者9人で構成し、今年は2.3ヘクタールで栽培しています。毎月定例会を開き、部会員同士で調整しながら作付け計画を立て、安定出荷に努めています。

部会員の山本征志さんは「花は心を豊かにしてくれます。このような情勢だからこそ、出雲の菊をたくさん飾っていただきたい」とアピールしました。



収穫期を迎えた菊を確認する山本さん

J Aしまね出雲養鶏部会 福祉施設へ恒例の卵贈呈

J Aしまね出雲養鶏部会は6月15日、同J A出雲地区本部で総会を開催しました。令和2年度も引き続き安全・安心な鶏卵生産に努め、飼料用米を利用した鶏卵「こめたまご」の更なる販売拡大に努めるとともに、地鶏「出雲コーチン」を活用した肉用鶏の作出、ブランド化を目指すことを申し合わせました。

同部会では令和元年、1023トンの鶏卵を出荷。全国的な生産量増の影響で近年低価格で推移していますが、安定供給に努めています。飼料用米を使った鶏卵の普及・販促活動に積極的に取り組み「ラビタのこめたまご」は約16万2000パック（約105トン）を販売しました。

恒例の社会福祉施設への卵の贈呈も行い、福田賢治部会長が、社会福祉法人J Aいずも福祉会の鐘推義憲事務局長へ手渡ししました。



福田部会長(右)から鐘推事務局長(左)へ贈呈

育苗ハウスで小玉スイカ 遊休期間利用で所得向上につなげる

J Aしまね出雲地区本部が、水稲の育苗ハウスを活用した小玉スイカの栽培を提案しています。今年は法人を含む5生産者が8アールで栽培。水稲栽培への影響がないよう、作業の省力化、効率化を図り、農家の所得向上につなげていきます。

高松の安田正範さんからハウス活用の相談を受け、同地区本部営農部が小玉スイカの栽培を提案しました。順調に生育し、販売も好調だったため、今年3月には同地区本部が開くミニアグリミーティングで成果を報告。興味を持った4生産者が栽培を始めました。

水稲農家で副収入をねらうにあたり、①育苗ハウスでの栽培が可能であること②水稲栽培の作業に影響しないこと③収益性があること——がポイントになってき



トロ箱をハウス内に置いて栽培



制御盤の設定を確認する
正範さんの息子の高廣さん

ます。小玉スイカはトロ箱、プランターで栽培でき、トロ箱等を撤去すればすぐに水稲の育苗が始められます。

作業性は、負担の大きい水管理を「スマート農業」で省力化。安田さんは、日射量に応じて自動灌水ができる「灌水集中制御盤 アクアマイスターPro」を使用し、作業負担を大幅に軽減しています。また、この装置は水稲育苗にも活用でき、効率化が期待されます。

「ピノ・ガール」は昨年発売の新品種で、1.6キロ〜2キロ程度の食べ切りサイズ。種が小さく、気にせず食べられるのが最大の特徴で、糖度も高く食感にも優れています。JAで販路を確保しており、小売店のバイヤーからも好評です。

小玉スイカは促成栽培の収穫が7月上旬ごろに始まり、その後10月収穫予定の抑制栽培が始まります。

令和3年度 介護・看護・作業療法士採用職員募集

J Aいずも福祉会（みどりの郷4施設）では、令和3年4月採用職員の募集を行います。詳しくはJAいずも福祉会事務局（☎0853-31-4080）までお問い合わせください。



- 採用予定人数 / 介護職員若干名、看護職員・作業療法士各若干名
- 応募資格 / 協同の精神のもとに、福祉活動を通じて、生きがいのある安心して暮らせる地域づくりのために活躍しようとする人で、次に該当する方。
 - ① 大学、短大、専修学校を卒業または卒業見込みの方。
高校を卒業された方。
 - ② 介護職員は、資格・経験は不問。
看護職員は、看護師、准看護師資格いずれかの資格を取得見込又は資格を有する方。
作業療法士は、作業療法士の資格を取得見込又は資格を有する方。
- 提出書類 / 自筆履歴書(写真貼付)、卒業見込証明書 ※応募書類は返却いたしません。
- 書類締切日 / 令和2年8月31日(月)
- 書類提出先 / JAいずも福祉会 本部事務局 〒693-8585 出雲市今市町106番地1
- 選考方法 / ①筆記試験：小論文
②面接試験：書類選考および面接試験
- 試験期日 / ①筆記試験：令和2年9月19日(土)の予定
②面接試験：別途通知または当日実施

尚、4月採用職員以外にも随時募集を行っておりますので、お問い合わせください。

「生活習慣病」が現代人の身近なリスクになっています。

「いま」から生活習慣を見直して、
「みらい」のリスクに備えましょう。



NEW 身近なリスクに
そなエール
特定重度疾病共済

新しい保障「そなエール」は、
三大疾病をはじめとした
重い生活習慣病に備える共済です。

Point 1

幅広く保障します。

三大疾病(がん・急性心筋梗塞・脳卒中)に加え、三大疾病以外の「心・血管疾患」や「脳血管疾患」、さらに「その他の生活習慣病」まで幅広く保障します。

Point 2

共済金を最大4回まで
お受取りになれます。

「がん」「心・血管疾患」「脳血管疾患」「その他の生活習慣病」の4つの区分ごとに共済期間を通じてそれぞれ1回、最大で4回共済金をお受取りになれます。

Point 3

継続的な治療による
経済的負担に備えられます。

まとまった一時金を受け取れるため、治療費や収入減少など、継続的な治療による様々な経済的負担に備えることができます。

疾病区分

①がん

- 悪性新生物
- 上皮内新生物
- 脳腫瘍

②心・血管疾患

- 急性心筋梗塞
(急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞)
- 急性心筋梗塞以外の心・血管疾患
(狭心症、不整脈、高血圧性心疾患、大動脈瘤および解離など)

③脳血管疾患

- 脳卒中
(くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞)
- 脳卒中以外の脳血管疾患
(脳動脈瘤、もやもや病、高血圧性脳症など)

④その他の生活習慣病

- 糖尿病
- 肝硬変
- 慢性じん不全
- 慢性すい炎

※上記の疾患に該当したうえで、所定の条件を満たす必要があります。

ご契約例

- 加入年齢: 30歳
- 共済金額: 300万円
- 共済期間: 80歳満了

各疾病区分の支払事由に該当した場合、特定重度疾病共済金を一時金として各疾病区分につき1回ずつお受取りいただけます。(最大4回)

各疾病区分の支払事由に該当したとき
特定重度疾病共済金として

300万円(最大4回)

30歳ご加入 80歳満了

○この共済は、死亡時における保障はありません。
○特定重度疾病共済金を4回お支払いした場合には、ご契約は消滅します。
○がんに関する責任(保障)の開始は、ご契約日からその日を含めて91日目からとなります。これより前に被共済者が所定の悪性新生物または脳腫瘍と診断確定された場合には、がんにかかる共済金はお支払いいたしません。(がん以外にかかる疾病区分および共済掛金の払込免除についてはご契約日から保障いたします。)

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

詳しい情報はホームページをご覧ください

JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp>

お問い合わせは

JA各支店まで



J Aしまね出雲肥育牛部会
有限会社藤増

なぎら

あかね

柳樂 朱音さん (21)

— 出雲和牛 —

地元生まれ地元育ちが中心
環境に配慮し健康に育てる

鶏	500羽	繁殖牛	54頭	肥育牛	400頭	経営規模	藤増牧場
---	------	-----	-----	-----	------	------	------

知井宮町と佐田町の2か所に牧場を構える有限会社藤増。焼肉の藤増、鉄板焼藤増を運営するほか、藤増ストアでも丹精込めて育てた「出雲和牛」を販売しています。今月は、藤増で従業員として働く柳樂朱音さんに、牧場での仕事について伺いました。

お父さんの実家が牛を飼っていたことがきっかけで、牛の飼育に興味を持った柳樂さん。出雲農林高校の動物科学科、農林大学校の肉用牛専攻を経て、藤増に就職しました。現在佐田牧場に勤務し、繁殖牛の餌やりや観察、出産の立会いなどを担当しています。

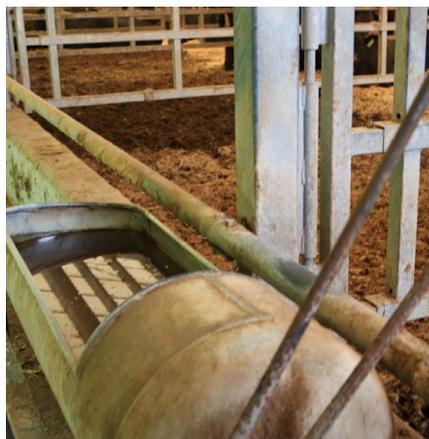
ちょっとした見逃しが命にかかわる気が抜けない仕事。出産が近いときなどは、夜、仕事を終えて自宅にいるときでも、スマートフォンを使って兆候を確認します。牛舎にはWiFiにつながったカメラが設置されており、専用のアプリを使って離れていても牛の様子を観察することができます。

藤増では、主に出雲市産の子牛を仕入れて肥育しています。繁殖にも取り組み、産まれた子牛も自社で育てます。牛が快適に過ごせるよう環境にも配慮。夏場、牛舎内の温度を下げるために噴霧しているミストは、消臭効果のあるものを使っているそうです。ウォーターカップ（牛が水を飲む入れ物）もサイズが大きいものを設置し、ストレスなくたくさんのお水が飲めるようになっています。

「藤増のお肉がおいしかった!」と言ってもらえるのが何よりうれしいです」と話す柳樂さん。おすすめの食べ方を尋ねると「焼肉でも一度は何もつけずに食べて、脂の甘みを味わってみてください」とPRしてくださいました。



スマートフォンのアプリで牛舎内の様子が見られる



ウォーターカップはサイズの大きいものを使用



タイマーでミストを噴霧し暑さ対策

出雲の旬レシピ



出雲和牛の ライスパーカー

＜材料＞[2人分]

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ★パンズ | ★具材 |
| ●温かいご飯……………300g | ●牛バラ肉(切り落とし)… 200g |
| ●片栗粉……………大さじ2 | ●焼肉のタレ……………適量 |
| ●醤油……………適量 | ●コチュジャン……………お好みで |
| ●サラダ油……………大さじ1 | ●すりおろしにんにく… お好みで |
| ●ごま油……………大さじ1 | ●白いりごま……………適量 |
| ●サニーレタス……………適量 | |

＜作り方＞

準備：温かいご飯と片栗粉を混ぜ合わせ、4等分しておく。

- ①中火で熱したフライパンにサラダ油を敷く。ご飯を円形の型に詰めて厚さ1cmくらいの円盤状に成型し、表面に醤油を薄く塗り、両面をこんがり焼く。同様に計4個作る。
- ②①のフライパンにごま油を敷き、牛バラ肉を入れて中火で炒める。
- ③肉に火が通ったら、Aを入れ、馴染んだら火を止める。
- ④①にサニーレタスと③を敷いて、①で挟んで出来上がり！

出雲和牛を使った贅沢な一品。味付けはお好みですが、薄めの味付けでも十分な満足感があると思います。冷めないうちにどうぞ。



出雲和牛の生春巻き

＜材料＞[2人分]

- | | |
|-----------------|----------------|
| ●牛バラ肉(焼肉用)… 50g | ●しょうゆ……………大さじ2 |
| ●スライスチーズ… 2枚 | ●酒……………大さじ2 |
| ●サニーレタス……………適量 | ●みりん……………大さじ2 |
| ●にんじん……………適量 | ●砂糖……………大さじ1 |
| ●赤パプリカ……………適量 | ●サラダ油……………大さじ1 |
| ●ライスペーパー… 2枚 | |

＜作り方＞

準備：サニーレタス、にんじん、赤パプリカは洗って、食べやすい大きさに切っておく。

- ①中火で熱したフライパンにサラダ油を敷き、一口大に切った牛肉を炒め、タレを入れて全体に馴染ませる。
- ②ライスペーパーを水にさっとくぐらせ、スライスチーズ、野菜、牛肉の順番でのせ、手前から奥にむかって、両サイドを折り込みながら巻きあげる。
- ③食べやすい大きさにきり、①で残ったタレをかけて完成♪

手軽に食べられる生春巻き。サラダ風ですが、照り焼きにした牛肉がしっかりとした食べ応えを感じさせてくれます。



©2017 JA-KYOSAI

来月のいずも食材の日
8月の食材は

「シャインマスカット」です！



と、とろけるような食感。安全性に十分配慮して飼育された信頼のブランドです。生産者の皆さんが愛情込めて育てた「出雲和牛」をぜひご賞味ください。

今月の食材は

「出雲和牛」

しまね和牛の中でも、JAしまね出雲肥育牛部員が生産した黒毛和牛の去勢および雌肥育牛のブランド名を「出雲和牛」といいます。

ジューシーでやわらかな肉質、芳醇な甘み



フレッシュユミズグループ「ニキータ」は、第2期いずもJ A女子大学の卒業生が結成したグループです。メンバーは40代から70代の31人。年間6回程度、不定期に活動しています。

フレッシュユミズグループ
「ニキータ」
代表 園山 幸美さん

グループ紹介



日帰り研修で和菓子を作るメンバーたち

では、今後の活動の打ち合わせを兼ねて食事会も開いています。昨年6月に実施した日帰り研修では、飯南町を視察。大しめなわ創作館でしめ縄作りを体験した後、昼食をはさんで和菓子作りも行いました。このほかにも、メンバーの意見を聞きながら企画に盛り込み、一昨年はストレッチャ教室、昨年は6月の日帰り研修に加え、10月にも奥出雲旅行を実施しました。「それぞれの負担にならない形で活動を続けていきたい」と話す園山代表。企画は全員にメールやLINEで周知し、都合がつく人が参加しています。また、実施した活動の様子も全員に情報発信して共有し、久しぶりでも参加しやすい雰囲気づくりに努めています。

料理教室から託児まで

幅広く活躍!!

J Aしまね出雲地区本部 生活文化協力員

令和2年度 J Aしまね出雲地区本部
生活文化協力員 (敬称略)

J Aしまね出雲地区本部では、組合員の皆さんの生活文化活動をサポートするとともに、JA 組織活動の活性化を図ることを目的に、生活文化協力員を管内の各ブロックに配置しています。

生活文化協力員は、定期的開催する会議・研修会に参加し、JA 生活指導員と連携をとりながら、各地区で行う料理教室や加工品作りなどの講師としてJA女性部のグループ活動に参加しています。また、農業まつりやJA女子大学、健康診断等にも積極的に協力するなど幅広い分野で活動しています。

今年度は各ブロックから15人を選任しました。令和元年度には401件の活動をしており、今後も生活文化活動がより充実したものとなるよう活動していきます。

主活動ブロック	氏名
中部ブロック	園山 紀子
	矢田 絹子
	長谷川博美
東部ブロック	湯浅万里子
	山形 由紀
	山崎 智子
	松浦 洋子
西部ブロック	園山 幸美
	角森 希美
	横田 紀子
河南ブロック	森山都代子
	石飛 通子
	高山 恭子
南部ブロック	飯塚 恵理
	曾田 美子



出雲市農政会議だより

令和2年7月18日

発行元：出雲市農政会議(出雲市今市町106番地1 JAしまね出雲地区本部 営農企画課内)

発行責任者：事務局長 山根 康太

No.90

【活動内容報告】

○書面決議による第16回通常総会の実施

出雲市農政会議は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年度の総会を規模縮小により開催することとしていましたが、総会開催を断念し、規約上でない緊急的な特例措置として書面決議により実施しました。

ブロック・支部より選出頂いた129名の代議員が6月20日締め切りで回答書を提出し、令和元年度活動報告、令和2年度活動方針などの4議案について賛成多数により承認されました。

令和2年度は、農業振興施策に関する要請活動のほか、新型コロナウイルスによる農業への影響に最大限の注意を払い、必要に応じて緊急要請等を実施することとしています。

【お知らせ】

○現在、出雲市農政会議ブロック・支部にて、令和3年度出雲市農業振興施策確立に関する要望事項をとりまとめています。要望事項等がございましたら、支部事務局までお知らせください。

農業用廃棄ビニール・プラスチック類の回収についてのお知らせ

下記の回収処分計画表の通り、農業用廃棄ビニール・プラスチック類の回収を行います。持ち込みを希望される方は、**「委任状」・「産業廃棄物運搬車表示」**が必要となりますので、最寄りの各営農センターまでお受け取りにお越しください。尚、「産業廃棄物運搬車表示」は紙に手書きしたものでかまいませんが、マグネットシートの表示板をグリーンセンターにおいて販売しておりますので、ご利用ください。

1.回収処分計画表

地区名	回収場所	回収日	回収時間
桧山・久多美・灘分・平田	平田カントリー	7月27日(月)	午前9時～11時
伊野・平田東・西田・国富			午後1時～3時
神西・神戸川・湖陵・多伎	西部カントリー	7月30日(木)	午前9時～11時
高松・荒茅・園・大社・遙堪・荒木	西部カントリー	8月3日(月)	午前9時～11時
乙立・朝山・稗原・佐田 上津・大津・塩冶・今市 四絡・高浜・川跡・鳶巣	西部カントリー	8月4日(火)	午前9時～11時

2.回収対象 被覆資材(ビニール・農ポリ)・ハウス資材(マイカー線・パッカー・寒冷沙・タイベック)・灌水チューブ・肥料袋・ビニールマルチ、育苗箱、波板

持込不可の物

※農薬の容器や空袋、紙(ダンボール箱等)
※トンネル支柱・イボ竹等鉄にビニールコーティングしてある物
※塩ビパイプ管 ※金属類

3.処理料金・料 金：kg当たり 税込 61円

代金決済 代金決済：営農口座より 令和2年9月25日(金)引き落とし

4.処理代金について 今回の回収にかかる処理料金は、産業廃棄物の処理料金が高騰しているため、前年と比べて値上がりとなっております。ご了承ください。

※ご不明な点がございましたら生産資材課・各営農センターへご連絡ください。

●生産資材課 ☎21-6047 ●中部営農センター ☎31-9055 ●西部営農センター ☎53-2168
●河南営農センター ☎43-7007 ●南部営農センター ☎84-0213 ●東部営農センター ☎62-9059

輝け!

いずもスマイル

出雲市大社町

かねつき かずなり
金築 一成さん (47歳)

人とのふれあいが好き

大社町で農業を営む金築一成さん。両親との家族経営で、デラウェア50アール、大粒系ぶどう40アールなどを栽培しています。祖父の代からのぶどう農家で、後継ぎとして就農して20年以上になります。出雲ぶどう部会では、現在副検査長を務めています。

家では主にデラウェアを担当し、無加温栽培で6月下旬ごろから出荷を始めます。「デラウェアは栽培方法が確立されているので作りやすい」とのこと。ぶどう栽培で大変なことを尋ねると「ジベレリン処理や摘粒、摘房は1房1房に神経を使うので大変。収穫作業は先が見えているので気持ちが楽です」と教えていただきました。



趣味にも力を入れ、特にサッカーは地元チームのサポーターとして積極的に活動しています。「人とのふれあいが好き」という金築さんはサポーター仲間も多く、活動を通していろいろなつながりが増えているそうです。

今年はコロナの影響で「おうち時間」が増えていますが、これをきっかけにアウトドア熱にも火がついたとのこと。道具をそろえ、家でバーベキューなどを楽しんでいます。状況が落ち着いたら、友人たちとキャンプなどもする予定にしています。

健康ライフかわら版

受けよう健康診断! つかもう安心!

～毎年健康診断を受けていますか、受けたら結果を必ずチェックしましょう～

自分の健康状態を客観的に教えてくれるのが「健康診断」です。健康診断の結果から「去年より中性脂肪も血糖値も改善したぞ。ウォーキングするようになったからな。」などの声をききます。このように生活習慣と健康診断の結果は密接な関係があります。糖尿病等、生活習慣病などにかかるリスクがある場合は特定保健指導を受けることで生活習慣が改善され、健康を守ることができます。家族や仲間の協力で、より健康的な生活習慣にすることで病気が予防できます。

健康診断結果で、「要再検査」「要精密検査」「要医療」等の通知があった方は必ず医療機関で相談し、指導を受けてください。早期発見・早期治療で負担が小さくてすみます。結果の見方がわからない場合は健康診断機関や保健師等に相談してください。

みなさんの健康診断の日程は、いつでしょうか? 受け忘れのないよう、家族みんなで声をかけあって受けるようにしましょう。そして、健康診断結果を自分の健康づくりや生活習慣の改善に役立ててください。

職場の健診



特定健診

人間ドック

お問い合わせ先 島根県出雲保健所 健康増進課 TEL 21-8785

おたより広場

読者のみなさんからの投稿コーナーです。最近あった「楽しかったこと」「最近思うこと」「感動したこと」…ぜひお聞かせください。写真や絵手紙・イラストも大募集!!

〒693-8585
出雲市今市町106番地1
JAしまね出雲地区本部内
「広報誌JAしまねびより」編集係 宛
☑メールでの投稿も大歓迎!
izumokouhou.izm@ja-shimane.gr.jp

●出雲のデラウエアはとてもおいしく、毎年この季節をとても楽しみにしています。近年食べやすくなっているのには、農家の皆さんの研究努力があると感じました。

(国富町 Y・Yさん)

●デラウエアを家族みんなにひと房ずつ。「これはおいしい」と喜んであつという間になくなりました。「また買って」という孫達に「わかった、また買って」と約束しました。

(神西沖町 D・Sさん)

●今年もぶどうの時期が来て、親戚知人に送りました。翌日には「ぶどう着いたよ」「おいしかったよ」「等のTELが続々。コロナの影響で5月のゴールデンウィークも静かな老人二人暮らしの家に、久しぶりに賑

わいが来た日々でした。

(大社町 S・Mさん)

JA：食べたり、贈ったり、もらったり、いろいろな場面でデラウエアを目にするこの季節。出雲を代表する特産だということを、毎年実感しています。シーズンも終盤ですので、しっかりと楽しみましょう！

●出雲のパプリカ。シャキッとした食感がたまらなく好きです。品種も変わったと聞き、おいしいパプリカの出荷を心待ちにしています。

(音渡町 K・Jさん)

JA：色鮮やかで食卓も華やかになりますし、清涼感が今の季節にぴったりですね。輸入物が多い中、希少な国産のパプリカ。店頭で見かけたらぜひご注目くださいませ！

●高齢化と人口減少が進んでいる島根県に、ロボットやICT(情報通信技術)を活用した「スマート農業」がどのような役割を果たすのか、とても楽しみです。農業にしろ、教育にしろ、ICTはどんどん進んでいるのですね。びっくりです。

(上塩治町 S・Yさん)

JA：先月号では「スマート農業」を特集させていただきました！今後も随時県内の情勢等、発信していきたいと思しますので、興味を持って見ていただければ幸いです。

●出雲の旬レシビ、今月も参考になります。先月おいしい大きなトマトをいただいたので、早速マリネにしました。3歳になる息子もパクパク食べました。暑い夏をこれで乗り越えたいです！

(医大南町 Y・Sさん)

JA：マリネはアレンジもしやすいですし、これからの季節、あっさりとお食べられておすすめです！ぜひまた作ってみてください。

今年もまた暑い夏がやってまいりました。外出時にマスクが欠かせない情勢ですので、例年以上に熱中症に気を付けて、元気に夏を乗り越えましょう！



写真紹介コーナー



遙堀地区で家庭菜園を守る1体のリアルかかし。畑が好きで、30年来家庭菜園をしているという大社町の吉川正美さんが、湖陵町の方から役目を終えたかかしを譲り受け、畑に設置しました。かかしの常駐するテント横にある管理機の入れ物は家を模しており、ドアや煙突もあります。おしゃれた看板も立てられ、遊び心満載です。

吉川さんからは「人通りが多い場所です、いろいろな方に見ていただけます。農業に親しみを持ってもらえればうれしい」とコメントをいただきました。

CrossWord クロスワード パズル Puzzle

二重マスの文字をA～Eの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ

1	6	9		14	18	21
		E				
	7		11		19	
2			12	15		C
		10				
			A			
3	8				20	
4			13	16		
	D					
5				17		B

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で
利用することはありません。

タテのカギ

- ② 香りの良い薬味の一つ。ウナギのかば焼きにも振り掛けます
- ⑥ ——は人のためならず
- ⑧ 釣り——と一緒に海に出掛けた
- ⑨ 宣伝などを書いて通行人に配ります
- ⑩ 上(かみ)の反対語
- ⑪ 京都の夏の代表的な行事、——の送り火
- ⑮ 原稿用紙につづることも
- ⑯ 10円硬貨に最も多く含まれる金属
- ⑰ イスラム教の礼拝堂のこと
- ⑱ 人の助けを借りずに——で切り抜けた
- ㉑ ——を引かれる思いでいとまを告げた

ヨコのカギ

- ① 夏の夜空で打ち上げ——が開いた
- ② 飲ん兵衛(べえ)が好きな物
- ③ ニッケイの樹皮から作られるスパイス
- ④ 仕事や用事の合間の空いた時間のこと
- ⑤ 私は——も育ちも東京です
- ⑦ ツナ、シーザー、海藻といえば
- ⑩ 指先の腹側にある筋模様
- ⑫ 焼き肉のミノ、センマイといえどこの部位？
- ⑬ 携帯電話を自分に向けてパシャッ!
- ⑭ 力士が土俵上で取るもの
- ⑰ 泳げない人が腰回りにはめます
- ⑲ 職人さんに握ってもらって食べることも
- ⑳ まったく派手ではありません



応募要項

- 応募方法
ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品
正解者の中から抽選で40名(ＪＡしまね全体)の方に「ＪＡ商品券」をお贈りします。
- 当選者発表
賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切
〒693-8585 出雲市今市町106-1
ＪＡしまね 出雲地区本部 情報システム課 「クイズ」係
2020年8月7日(金)(当日消印有効)

◆先月号の答え◆

「サングラス」

ア	サ	ガ	オ	ダ	イ
ウ	ラ	ン	タ	テ	ケ
ト	シ	カ	ン	サ	
コ	ウ	ラ	ボ	シ	
ポ	シ	シ	ユ	ウ	
ス	ギ	カ	イ	ロ	
ト	ミ	ド	サ	ン	コ

俳句の広場

最優秀賞

新入生すきまだらけの歯が笑ふ
邑南町 三宅伊知枝様

優秀賞

休校の甥姪つどふ田植ふかな
益田市 伊藤 阡様

夏服で再開廊下 走る子ら
吉賀町 村田 綾美様

鴉外の胸像に置くミニトマト
津和野町 田中とよし様

佳作

昏睡す 田植疲れの美容院 出雲市 竹田喜久子様
ドクダミの白十字架 薄明り 西ノ島町 真野 早苗様
梅雨の蝶々迷ひてをり 弥陀の前 出雲市 藤江 堯様
朝もやに漁を終へた 返り船 松江市 岩成 恒子様
粉雪を 睫毛にのせて 郵便夫 松江市 稲田 忠徳様

「家の光」では俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集
しています。7月号へも是非応募ください！
【家の光】8月号 定価6290円(税込)で購読は、お
近くのJAにお申し込みください。

JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。優秀句(最優秀賞1句、優秀句3句、佳作5句)

応募方法 俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールでご応募ください。
※1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名(または雅号)を掲載します。

あて先 〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX: 0852-67-7708
Eメール: fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

最優秀賞、優秀賞の4名様には「JA商品券1,000円分」をお贈りします。

組合員からの情報提供窓口の設置について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法(法第35条の5)および農協法施行規則(第81条)に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報(組合経営に関する事象に限る)の提供を受け付けています。
当組合理事の組合経営に関する気になる行為について、封書またはEメールにて下記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

連絡先: 住 所 〒690-0887 松江市殿町19番地1
Eメールアドレス kanji.hon@ja-shimane.gr.jp
部 署 監査部
受 付 監 事 常勤監事

※当組合の業務に関する一般的な苦情については、担当部署または支店で受け付けていますのでご利用ください。
※ご厚意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

島根県農業協同組合 監事会

JA共済にご加入のみなさまへ

全国で
増加

共済金請求にかかる 県外 乗使業者 にご注意ください!

島根県内でも
発生して
います!



こんな勧誘に
ご用心!

と、うっかり
応じてしまうと...

JA共済から指定されていますので、
安心してください。

お宅の屋根瓦ゆがんでますよ。共済金の支払対象になりますし、
共済金の範囲内で修理しますので、お客さまの**自己負担はありません!**
もし請求手続きが面倒であれば、手続きも代行しますよ?

あら、それは
いいわね。

こんなことも...

1 うその理由での請求を 勧められた!

「台風が原因と言えば問題ないで
すから」と、**うその理由**で共済金
請求をするように勧められた!

うその理由による共済金
請求は、共済金詐欺に該
当するおそれがあります。

共済金詐欺に
あたらないかしら...



こんなことも...

2 法外な解約料金を 請求された!

見積書の金額が高すぎるので、
知り合いの業者に頼もうと思い
解約しようとしたら、**高額な解
約料金を**請求された!

支払われた
共済金の50%なんて
聞いてないよ!



こんなことも...

3 ずさんな工事をされた!

見積書の内容どおりの工事をし
てもらえず、引渡後すぐに**雨漏
り**が発生した!

お金を
返して!



ご注意

建物修理トラブル

「共済金使える」と言って建物修理の勧誘を受けたときには、
建物修理契約を締結する前にまずJAにご相談ください!



JA共済

大好評!!

酸素系多目的エコ洗剤 (酸素系漂白剤)

サンリキ

漂白

洗浄

脱脂

脱臭

除菌

「酸素の力」で
強気に落とす!

マスクの除菌・脱臭にも..かんたんつけおき!



①お湯に溶かす

1ℓ スプーン1杯



②つけおきする

つけおき
1時間



③乾かす

軽くすすいで
日光浴!



衣類



ワイシャツの襟汚れ

衣類のしみ抜き

つけ置くだけですっきり漂白、色柄ものもOK

キッチン・住まい



換気扇の油汚れ

水筒の茶渋

簡単つけ置きで手間なくピカピカに!



いろいろ使えて手肌にやさしい
これ1本で家じゅうきれい!

- 衣類の黄ばみ・黒ずみ、作業着・柔剣道着・ユニホーム、部屋干しのにおい軽減
- コンロ周りの油汚れや焦げ付き、まな板・包丁の除菌、排水溝の洗浄、冷蔵庫の除菌消臭
- 洗濯槽の黒カビ、エアコン、浴室・浴槽



安心・安全。
だから...
・ベビー肌着
・おむつ洗い
・哺乳瓶用洗剤

日常使いに



①1.5kg 袋入
¥2,450+税

たっぷり大容量



②3.5kg ボトル入
¥5,350+税

製品に関するお問い合わせ先

(株) HALMスイ 出雲市塩冶有原町6-56 TEL 0853-22-7757

大切なあの人へ、旬の味をお届けいたします!



東郷産 二十世紀梨(赤秀品)と
島根県産 シャインマスカットの
詰合せ

[梨:3Lサイズ、5玉/
ぶどう700g見当]

本体価格 **4,800円**
〈税込価格5,184円〉

東郷産 二十世紀梨(赤秀品)と
島根県産 シャインマスカットの
詰合せ

[梨:2Lサイズ、6玉/
ぶどう700g見当]

本体価格 **4,800円**
〈税込価格5,184円〉

東郷産 二十世紀梨と
新甘泉の詰合せ(赤秀品)

[3Lサイズ、6玉(各3玉)]

本体価格 **3,500円**
〈税込価格3,780円〉



たっぷりの果汁と上品な甘さ

二十世紀梨

全国発送承ります 7月末までは **無料** 8月1日(土)~ 送料 **300円** (税込) 1箱

※ラピタにてご注文された梨(進物用)に限らせていただきます。※クロネコヤマトでの発送となります。
※お届けの期日は指定できませんのでご了承ください。

承り順に発送して参りますが、産地での梨の生育状況、サイズ、重量により発送が前後する場合があります。
(期日指定は出来ませんのでご了承ください。)

お申し込みはラピタ本店・各店で

CO₂削減・環境保全のため、
ご協力をお願いします

7月1日より
プラスチック製
レジ袋が有料
となっています(1枚3円)



お買物袋のご持参に
ご理解とご協力をお願いします

※その他の袋については、係員へお問い合わせ下さい

8/10(祝・月)まで

盆提灯

2020夏



おさいふカードに
ポイント加算
いたします!

場 所
ラピタ本店3階 イベントプラザ

時 間
10:00 ~ 17:00

開催中 展示即売会

水・金曜日は休店日
(但し、ポイント5倍デーの5のつく日及び8月は休まず営業いたします)

ラピタ2020 ビアガーデン

好評 開催中!!

感染拡大防止対策については万全を期しておりますが、ご利用者の皆様にもご協力をいただき、安全・安心の運営をしております。



間隔をあける

消毒液の設置

マスクの着用

〈ご利用者様へのお願い〉

ご入場の際はマスクの着用をお願いします。

営業時間/
PM5:30~PM9:00
会場/
ラピタ本店屋上

※写真はイメージです

焼肉も
食べ放題

入場料プラス**300円!**

7~8月の土曜日は除く

男性	女性
3,600円 (税込)	2,900円 (税込)
中学生から20歳未満	小学生
2,000円 (税込)	1,300円 (税込)
	幼児(3歳~6歳)
	300円 (税込)

当日のみ販売

アフター730券 2,100円 (税込)

PM7:30~PM9:00

PM7:30以降にご入場できるお得な券です!

ご利用日:日~木(祝日の前日は除く)焼肉バイキングはご利用頂けません

当日券のみの販売となりますのでご予約は受付しておりません



ご予約承ります

※満席時及び悪天候時はお断りする場合がございます。
お早めにお申し込み下さい。
※雨天時は屋根付ビアガーデンをご利用ください。

地域とともに

ラピタ

組合員の皆様へ

ご予約・お問合せ (お問合せ時間 AM9:30~PM8:00)

TEL:0853-31-5188

※酒席時、雨天の場合は入場を制限させていただく場合がございます。※風雨をともなう悪天候等により中止する場合がございます。
※20歳未満のお客様の飲酒はお断り致します。※飲酒後のお車の運転はご遠慮願います。又、飲酒運転の車両に同乗する事も法律で禁止されています。
※お子様連れのお客様(保護者様・同伴者様)は、お子様から目を離さないように、事故が起こらないように御注意ください。他のお客様もいらっしゃいますので、みなさんが楽しく過ごせるようにご配慮をお願いします。※20歳未満の方は保護者または監督者同伴にてご入場ください。



しまねうれしび



島根県家の光講師 飯塚生美子先生

夏野菜のスタミナ炒め



夏野菜には、暑い季節に必要な栄養素がたっぷり含まれています。さらに、油と一緒に摂ることで吸収率がアップします。

アレンジ

- 野菜は茄子、ズッキーニ、南瓜、オクラ、ゴーヤ、きゅうり等なんでもOK!
- 牛肉を豆腐、厚揚げ、高野豆腐、豚肉、鶏肉、ベーコン等に変えても美味しいです。
- にんにくを加えると、さらにスタミナアップ!
- ご飯にかければ、これ1品でバランスの取れた夏野菜スタミナ丼に!

●材料 (4~5人分)

- 牛肉(薄切り)……………200g
A 砂糖……………小さじ1
しょうゆ……………小さじ2
片栗粉……………大さじ1/2
卵……………2個
玉ねぎ(大)……………1個

- トマト……………2~3個
ピーマン……………2個
油……………大さじ2
B 塩……………小さじ1/2
しょうゆ……………小さじ2弱
砂糖……………大さじ1弱

●作り方

- ①玉ねぎ、トマト、ピーマンは食べやすい大きさに切る。(2×3cm位)
- ②牛肉は大きく切り、Aの調味料をもみ込んで下味をつけてから片栗粉をまぶす。
- ③フライパンに油大さじ1を熱し、ほぐした卵を流し入れ、大きくふっくらと焼きあげて、皿に取り出しておく。
- ④③のフライパンに残りの油大さじ1を熱し、②の牛肉を入れて焼き、火が通ったら卵と同様に取り出しておく。
- ⑤④のフライパンに玉ねぎ、トマトの順で加えて炒め、Bの調味料で味をつける。
- ⑥取り出しておいた卵と牛肉、ピーマンを加え、炒める。

茄子とろろ



茄子には体の熱を逃す作用をもつカリウムが豊富に含まれています。茄子の皮にはポリフェノールが多く含まれ、抗酸化作用が高い食材です。

アレンジ

- 多めに作って冷やしておけば、すぐに食べられます。
- そうめんの上にトッピングすれば、山かけそうめんの茄子添えになります。
- 茄子の皮は斜め細切りにして、きんぴらに!

●材料 (4人分)

- 茄子……………3本
片栗粉……………大さじ1
長芋……………15cm

- だし汁……………2カップ
A しょうゆ(薄口)……………大さじ2
みりん……………大さじ1
青しそ……………4枚
練りわさび……………適量

●作り方

- ①茄子はヘタを落として皮をむき、長さ10cm太さ1cmの棒状に切り、水にさらす。
- ②茄子の水気を取って、片栗粉を全体にふりかける。
- ③Aの煮汁を煮立て、②の茄子を加え、中火で10分間煮る。
- ④長芋の皮をむき、すりおろす。
- ⑤器に青しそを敷き、その上に茄子を盛り、長芋をかける。
- ⑥長芋の上にわさびを乗せ、煮汁を適量かける。

健康散歩

けんこうさんぽ



JA島根厚生連

夏の冷え症

夏本番になり熱中症に気をつけることはもちろんですが、冷房の効きすぎなどで夏でも冷え症に悩まされる人が少なくありません。適切な対策で予防や改善を図りましょう。

冷え症とは、多くの人が寒さを感じないくらいの温度でも、手足や下半身の一部、または全身が冷えてつらい状態のことをいいます。具体的な症状には、「手足の先が冷えて動かしにくい、ジンジンする」「背中がゾクゾクするほど寒い」や、「手足は冷えているのに、顔がのぼせる」などが挙げられます。また冷え症は、疲れやすさ、めまい、頭痛、腰痛などの不調とも関連しています。

夏の冷え症が起こる原因には様々な要因があります。室内の冷房の効きすぎや屋外と室内温度の温度差などの環境要因、またその人自身の服装によっても冷え症が起こりやすくなります。人間の筋肉量でも冷え症の起こりやすさが異なります。女性は男性に比べて筋肉の量が少なく、その分熱が発生しにくいことから寒い環境に対応できず、冷えが起こりやすいとされています。冷たい飲み物、食べ物の過剰摂取も原因になります。冷たい物を摂りすぎてしまうと、下がった胃腸の温度を戻すために身体の熱が使われたりするため、末端の冷えにつながりやすくなります。

夏の冷え症を予防し、改善するためには次のような対策があります。

○**服装**：冷房が効いている職場などでは、カーディガンなどを羽織るようにしたり、ひざ掛けを使ったりしましょう。また、身体のなかでも足先は冷えやすい部位であるため、足の冷えがつかない人、特に女性はストッキングの上に靴下を重ねて履くことを勧めます。

○**入浴**：夏はシャワーだけで済みますが、冷えを予防・改善するためには、きちんとお湯につかることが大切です。38~40℃くらいのぬるめのお湯にゆっくりつかることで副交感神経が優位になり、手足などの末梢の血管が拡張することで全身の血流がよくなります。この温熱効果に加え、浮力と水圧によって足腰などの筋肉の緊張が緩み、血流がよくなって末梢まで血液が行き渡り、冷えやむくみの改善に効果があります。お湯につかる時間は10分間を目安にします。連続してお湯につかっている必要はありません。体や髪を洗う合間など、何回かに分けて合計10分間お湯につかると良いでしょう。

体調トラブルを起こさぬよう適切な対策と予防を心がけ、夏を乗り越えましょう。

【編集後記】

JAしまねとJAしまね女性部統一行動として、殿町本店でも敷地の片隅にミニトマトの苗を植えました。JAビルに勤務する皆さんから育て方のアドバイスを頂いたり、大きくなったねと声をかけてもらったり・・・ミニトマトを通じた「ふれあい」を嬉しく思います。(木村)